



『先生からの手紙 No.7』

変わり続ける徳山高専

機械電気工学科 小田和広

高城会の皆様、いつもお世話になっております。

私は平成7年に赴任して、早くも15年の月日が経ちました。新任の時は28才でしたので、当時真っ黒だった頭髮は、いまではすっかり白髪の方が目立つようになってしまいました。

平成7年に専攻科1期生の入学式がありましたので、私の徳山高専では、専攻科の歴史と共に歩んで参りました。専攻科設置の初期の頃に専攻科幹事の任を受けましたので、専攻科生の就職・進学に苦勞した思い出があります。現在では、専攻科も全国の高専に設置され、企業や大学にもすっかり認知されていますが、はじめは企業が専攻科のことを知らないため就職活動に大變苦勞しました。当時の専攻科生が、「大卒でないと就職試験を受けさせてくれない。専攻科と言っても理解してくれない。」と泣きそうになって話にきたので、企業の採用担当に、詳細に誠意をこめて専攻科の説明をしたところ、納得され専攻科生の採用試験を実施していただきました。いまでは本科・専攻科ごとに求人も来るようになり、社会的に認知されたことを嬉しく思います。

本校も専攻科設置から、JABEE、校舎改修、企業技術者活用事業など、日に日に変化・発展しております。最近の卒業生でも、学校に来るたびに、その施設や教員、カリキュラムの変化に驚かれることでしょう。また、これからも徳山高専は、皆様の成長と同じように変化（進化？）し続けると思います。これからも徳山高専を見守ってください。

最後になりますが、高城会の皆様には、公用車の寄贈を受けましてありがとうございました。おかげさまでクラブ活動等に大變重宝しております。皆様の今後のご活躍と高城会の発展をお祈り申し上げます。